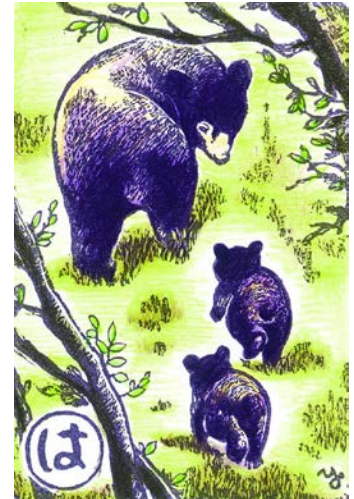


セミナー&シンポジウム 「人と動物の関係を考える」 ～仕切りを超えて思考と情報をつなぐ～

この10年間、身近なペットとしての犬や猫を愛護する気風が高まってきました。とはいえ、動物の生命、そして人と動物との関係を考える際には、多種多様な位置づけの動物のことを考える必要があります。それは、いわゆる愛玩動物のみにとどまりません。野生動物、動物園動物、実験動物、畜産動物と、人間の暮らしに関わっている動物は、私たちが日常的に意識している以上に多岐に渡ります。つまり、人と動物の関係を考えるためには、時には敢えてジャンルを超えて思考や情報を知る必要があると思われれます。

本セミナーとシンポジウムでは、動物をめぐる立場の異なる人々の考え方について、特定の価値観を超えて、理性と知性を持って、幅広く中立的に議論していきたいと思えます。



開催概要

主催：成城大学法学部打越綾子研究室 動物福祉研究会

平成28年度科学研究費プロジェクト（動物実験の社会的理解を得るための情報発信の研究）

場所：成城大学3号館

日時：3月11日（土）13時～17時

セミナー：日本の動物政策について 成城大学法学部 打越綾子

『日本の動物政策』（ナカニシヤ出版、2016年公刊）より法制度の概要解説

3月12日（日）10時～17時

シンポジウム 人と動物の関係を考える（講演の順序は当日まで未定）

愛玩動物：遠山潤氏（新潟県福祉保健部生活衛生課動物愛護・衛生係長）

1963年生まれ、専門は獣医学

野生動物：三浦慎悟氏（早稲田大学人間科学学術院人間環境科学科教授）

1948年生まれ、専門は生物学、動物行動生態学

動物園動物：橋川央氏（名古屋市東山動植物園 第14代動物園長）

1954年生まれ、専門は獣医学

実験動物：笠井憲雪氏（東北大学動物実験センター客員教授）

1947年生まれ、専門は実験動物学

畜産動物：佐藤衆介氏（帝京科学大学アニマルサイエンス学科教授）

1949年生まれ、専門は畜産学、応用動物行動学

参加費：無料

事前申し込み：不要 ただし座席数に限りがあるので、早めに会場にお越し下さい。

問い合わせ先：aya_uchikoshi@yahoo.co.jp（シンポジウム専用アドレスです）

企画の趣旨とご挨拶

今回のシンポジウムは、現代日本に暮らす私たちが陥りがちな「仕切られた動物観」を克服する視野を得たいと考えて、企画しました。「仕切られた動物観」とは、私が拙著で提示した概念です。

犬や猫を家族の一員として愛しながらも、その犬や猫の命を、いわんや私たち人間の生活を支えてきた実験動物や畜産動物には関心がない。動物園には遊びに行っても、野生動物の本来の生息地が抱えた課題を考えることがない。動物行動学、生態学、動物園学、実験動物学、畜産学などの専門家同士の交流も少なく、法制度や実務も別立てになっている。これが、今の日本の動物観だと思います。



しかし、どの分野でも、人と動物の関係について悩み努力する人々がいます。今回ご講演をしてくださる5人の先生は、動物への配慮と人間への配慮を両立させながら、各分野で研究や実践を重ねてきた第一人者の方々です。参加者の皆様も、他分野の議論を聞けば、新しいヒントが見つかるかもしれません。

なお、シンポジウムの「前座」として、拙著の内容を解説するセミナーも開催したいと思います。仕切りを超えた動物政策に関する情報を提示し、本番のシンポジウムを一層深く味わっていただきたいと思っております。

皆様のご参加、お待ち申し上げます。

成城大学法学部教授 打越綾子



挿絵のデザインは、MIT所属デザイナー吉野由起子さんの作品です

★成城大学アクセス

新宿駅から小田急線急行で約15分（快速急行は止まりません）。成城学園前駅から徒歩5分。正門を入り、50メートルほど進んだ先の、左手に見える白い建物が3号館です。



★当日の昼食等について

成城学園前駅周辺には、様々な飲食店がありますが、シンポジウムの際には、昼休みをさほど長い時間確保できるとは限りません。ご持参なさるか、テイクアウトメニューを調達なさることをオススメします。駅ビル内のお総菜店、老舗パン屋、有名高級スーパー本店、お馴染みのコンビニエンスストアなどあります。

お食事は、3号館1階の広いラウンジを利用できます。